

多様なキャリアを有する民間人材との連携による 社会課題解決（岩手県釜石市）

取組概要

復興まちづくりや持続可能なまちづくりプロセスにおいて、公的サービスの範囲は拡大し、地域が従前から抱える社会課題の深刻化や新たな社会課題が浮き彫りとなっている。人手不足や財源不足等により公的資源の限界を迎える中で、行政だけが課題解決に取り組むのではなく、地域内外の個人、企業、団体等、様々なセクター・人材が地域課題のプロセスに参画することのできる「余白(=制度)」をつくり、地域内外に課題解決プロセスへの参画を促すことで、行政(公助)を補完し、民の力を養うための、民間人材の活用を推進している。

人口 32,968 人(R2.1.1現在)

担当 総合政策課オープンシティ推進室

取組の効果

多種多様なキャリアをもつ人材が還流し、地域に新たな事業・活動の機会が創出されている。

創意・工夫した点

民間人材による社会課題解決へのアプローチ及び多様な関わり方を実現するための選択肢としての制度の構築。

他団体へのアドバイス

外部人材の誘致・活用には「通訳」となる人材が必要。行政⇄民間、都市⇄地方など、異なるセクターをコミュニケーションを促す。



釜石に暮らす、関わることを最大化するエコシステム